

No. 11 Kさん	27歳（男性）
<b>I. 前就労期（学歴, 職歴, 生活習慣, 対人行動, 気持ち）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学のころは部活・塾・生徒会と忙しかった。目立つほうでいじめなどあり不登校に。</li> <li>・ 高校から海外留学。大学2年で知的限界を感じ「挫折」し帰国。両親は何も言わず。</li> <li>・ 当人は「情けない気持ち」だが誰にも言えず。「誰かに話せれば違ったかもしれない」とも。</li> <li>・ 父親はPC系企業の営業でまじめ・やさしい。母親は専業主婦でやさしく、心配してくれた。</li> </ul>	
<b>II. 未就労期（きっかけ, 生活習慣, 対人行動, 気持ち, 継続要因）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学中退後、造園業に1ヶ月勤務するが続かず。人の目が気になり徐々に引きこもり状態に。</li> <li>・ 1ヶ月後ころ、ドア越しに母親に支援機関に誘われたが「ほっといてくれ！」と応じる。</li> <li>・ 3年間引きこもり状態。家族とは口も聞かない状態が1, 2年続いた。</li> <li>・ 精神的に不安定で死にたいと思ったり、風呂に一月入らなかつたり。精神科でうつ病の処方。</li> <li>・ 昼夜逆転。将来の不安などもあったが、テレビなど見て考えないようにしていた。</li> <li>・ その後「撃たれて死ぬ夢」を見る。以降本を読むなど悩むように。「動きたい」と思い出す。</li> </ul>	
<b>III. 被支援期（きっかけ, 支援内容とその長短, 影響や変化, 気持ち）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立塾をTVで見て親に頼む。「ここでやるしかないだろう」という覚悟で入塾。</li> <li>・ 自然が好きなので、自然の中にある自立塾を選択。「薪がないとストーブが炊けない」など、自発性が出てくる空気がある。昼夜逆転改善。ジョブカフェにも行った。</li> <li>・ 自分がどんな状況だったのかを話して、「おれもそうだった！」と言われすごくほっとした。スタッフがフランクに話してくれたのが、安心、安定につながる。</li> <li>・ 改善点は、期間が短い点。あと3ヶ月で色々就労体験できた。自立の準備期間が欲しかった。</li> </ul>	
<b>IV. 現在（就労のきっかけ, 気持ち, 成長可能性, 今後の考え）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒塾後、1ヵ月半実家に戻る。しかし、塾長に頼んで塾に戻る。塾近辺でアルバイトを開始。</li> <li>・ 今は週4日程度で物品販売店の接客。住居は塾のスタッフの借家に間借り。</li> <li>・ 収入・支出は同程度。親の支援はなし。空いた日には、塾の紹介で農作業。落ち着く。</li> <li>・ 今後は農業を勉強したい。大学時代の留学先の国に恩返ししたい。長所は「よく悩める」こと。</li> </ul>	